



ファサード見上げ

創価学会 総合案内センター

創立90周年を記念し、東京・信濃町の創価学会
総本部への“玄関口”となる情報発信の場が誕生

“会員の方々が気軽に使用できる施設の充実を”と計画・建設された同センター。総本部への“玄関口”としての位置付けである建物デザインは「ゲート」をイメージしている。外壁に採用された白色系の特注テラコッタルーバーは、広宣流布大誓堂との繋がりを感じさせ、縦強調のデザインにより“上昇感”を意識しつつも、日射・視線抑制の役割を果たしている。カーテンウォールのフレーム部の仕上げには、テラコッタルーバーと同素材の特注テラコッタ陶板をプレキャストコンクリート板に打込むなどの拘りによって「ゲート」としての一体感を演出している。



外観全景

DATA

施主：創価学会
設計：株式会社久米設計
施工：大成・飛鳥建設共同企業体
所在地：東京都新宿区信濃町
竣工：2019年

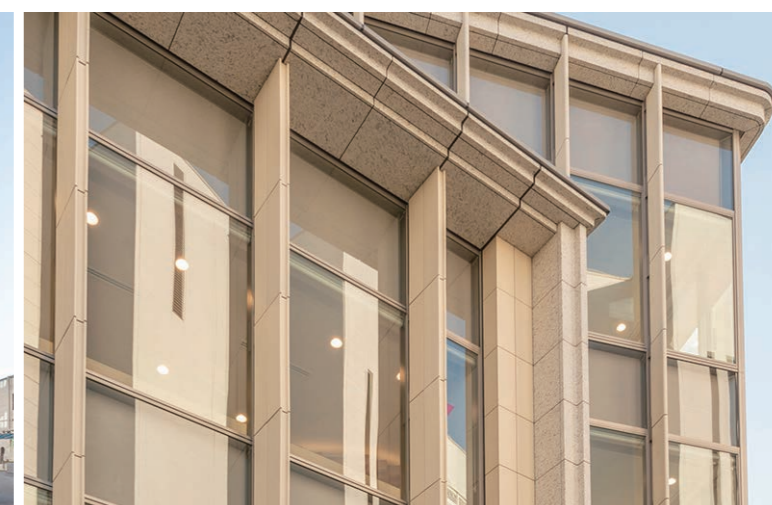
商品情報

テラコッタルーバー D500タイプ : TL-1400×500×(100+150)/E1809-331+2連結
D300タイプ : TL-1400×300×(55+80)/E1809-331
テラコッタ陶板 : FC-11/900*300/E1809-331
内部エントランス床 : IPF-600/GNA-1

外観

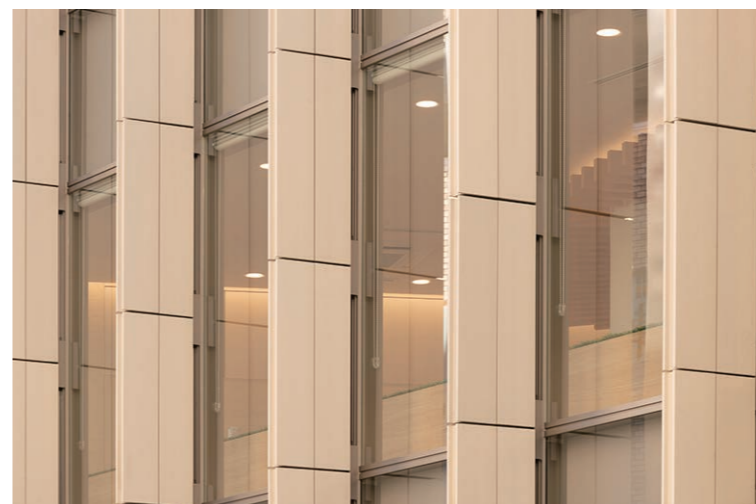


ファサード全景



正面外装壁ルーバー・陶板

外観

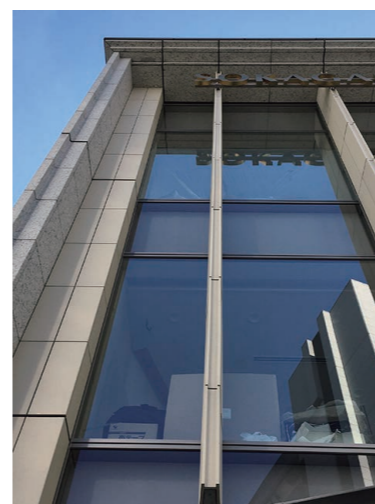


外装壁ルーバー中景



外装壁ルーバー中景

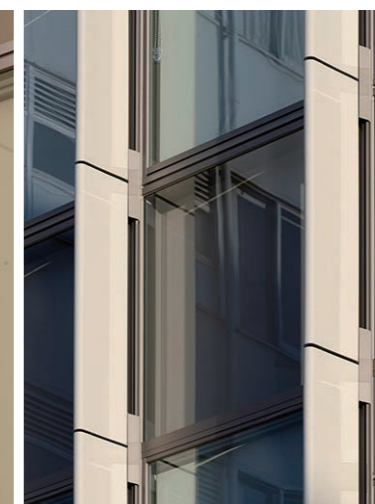
ディテール



外装壁ルーバー 見上げ



外装壁ルーバー デイテール



外装壁ルーバー デイテール



外装壁陶板デイテール